

問合せ先

第二管区海上保安本部 海洋情報部

監理課専門官 成田 誉孝

電話 022-363-0111（内線 2511）



平成28年11月24日

第二管区海上保安本部

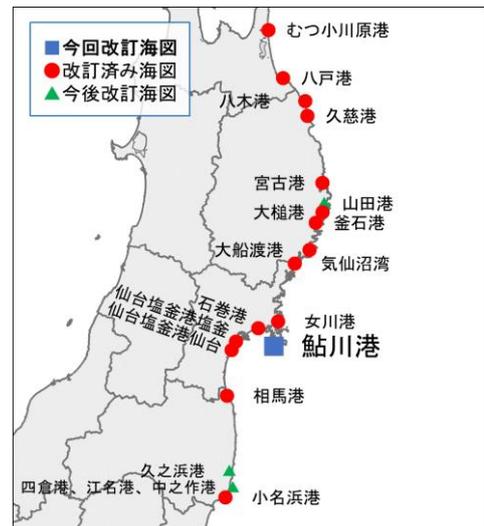
鮎川港の海図を一新します

被災港湾である鮎川港の海図を一新し、11月25日発行します。今回、最新の測量結果を適用したほか、海図の記載範囲を拡大し用紙寸法を大きくするなどの変更を行いました。

第二管区海上保安本部は東日本大震災で被災した港湾について計画的に測量を行い、海図の改訂作業を進めています。「鮎川港」の海図は震災後初めて全面改訂されます。この改訂により第二管区海上保安本部管内では21海域19図中16図を改訂することとなり、宮城県内の大縮尺海図は改訂作業が終了しました。（右図参照。）

今回の改訂では第二管区海上保安本部が平成27年6月から7月に実施した測量により、震災前後の水深変化や復興工事など最新の情報を反映し、津波により流出した瓦礫が海底に散乱する様子や地震後の地盤変動による変化も反映されています。また、従来の海図に比べて記載範囲を拡大する等の変更を加えています。これらにより鮎川港を利用する船舶の航行がより安全になり、利便性も向上することになります。

今後も引き続き復興工事の進捗に伴う情報を採り入れるなど、海図の最新維持を進めていきます。



海図の概要

海図番号	海図名	縮尺	図積	発行日
W1324	鮎川港	1/5,000	1/2	11月25日

図積：「1/2」とは用紙寸法 765mm×542mm

海図は、最寄りの水路図誌販売店又は取次店で購入できます。

海図の購入方法（水路図誌販売所）：（一財）日本水路協会のWebページ

URL <http://www.jha.or.jp/jp/jha/purchase/>

海図「鮎川港」(海図番号 W1324)

改訂前の海図「鮎川港(海図番号 W1411)」は、平成14年に改訂したものでした。震災後は港湾施設の破損状況、復旧状況を水路通報※により情報提供し、海図を修正してきました。

今回の改訂では海上保安庁測量船「天洋」による測量(平成27年6月～7月実施)に加え、復興状況に合わせた情報により鮎川港全域及び周辺部を震災後の測量データに更新しました。震災後に測量し、最新の情報となった区域は海図中の精度索引図※により確認することができます。

また、従来1/4だった海図の用紙寸法(図積)※を1/2に拡大、記載範囲も拡大し、より使いやすくなっています。

※注

・水路通報とは

海図を最新の状態に維持するための情報並びに船舶交通の安全に必要な各種情報を海上保安庁がインターネットにより週1回発行している。

・精度索引図とは

震災前後の測量区域を見分けられるように海図内に記載した図。水色区域は震災後の測量区域を表しており、白色区域は地震以前の測量区域で、水深が大きく違っているおそれがあることを表している。

・海図の用紙寸法は

海図全紙のサイズが765mm×1085mm。その長辺が半分のサイズを1/2(542mm×765mm)、更に半分の1/4という。

